

## 平成31年 美郷町長 新年あいさつ

町民の皆様、新年、明けましておめでとうございます。希望に輝く新春を、健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

日頃は、町行政各般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、町長として、初めての新年を迎えることになりました。町民の皆様から頂戴した多くのご期待、お声に応えすべく、町勢の発展に尽力する決意を新たにしています。

就任のときから目指したい町のあり方としてあげさせていただいています「活気あふれる明るいまち」「町外と活発な交流のあるまち」の実現に向かって、「猪突猛進」していきたい、と考えています。

昨年、美郷町では、大きな出来事がいくつかありました。

まず、JR三江線が3月末に運行を終えたことです。運行最終日には、イベントが催され、多くの方に見送られ、かつてのような賑わいの中、88年の歴史を終えました。

また、これまでに無いような災害も続きました。1月の大雪に始まり、4月には震度5弱の地震、7月には豪雨による水害で、住宅や農地のほか、企業でも被害を受けられました。被害にあわれました方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

一方うれしいニュースとしては、2月に、石見銀山街道のやなしお道と森原古道が、国史跡として指定されたことがあげられます。今後の文化・観光資源としての活用が期待されます。

町政においては、前町長がご退任されることとなり、私が11月から町長に就任し、新たに町政を担わせていただくことになったところです。

さて、新しい年は、天皇陛下がご退位され、皇太子様をご即位なされ、平成から新たな元号となる年です。時代の節目ともいえる年であり、美郷町も、これからの時代に向けて、取り組んでいきたいと、考えています。

美郷町は、「自然豊かで健康的」「歴史と伝統を大切にする」まちである一方で、「知恵があり、時代の最先端を走っている」まちでもある、と考えています。具体的には、野間、田之原の雲海などの四季

折々の美しい風景、中国地方最大の江の川でのカヌーや美肌効果の高い温泉、衣装と舞で魅了する石見神楽や国史跡にも指定された銀山街道、そして、全国から注目を集める山くじらの取り組みや最先端のICT教育、充実した定住・子育て環境といった、町外にも胸を張って紹介することができるものがあります。

今年は、美郷町の輝く未来の実現に向けた礎となる年にしたい、と考えています。特に「町外と活発な交流のある町」を目指すためには、積極的に交流人口、関係人口を増やしていく必要があります。

そのために、いくつかの取り組みを行ってまいります。

1つは、美郷町の「情報発信の強化」です。ホームページを刷新し、イベントや媒体での発信を強化します。また、今年は猪年、町のマスコットキャラクター「みさ坊」の年でもあり、美郷町のPRに精一杯活躍してもらいたい、と思っています。美郷町の認知度を高めていくため、取り組んでまいります。

また、「おおち山くじらの取り組みを発展」させていきたい、と考えています。これまで進めてきた「おおち山くじら」の取り組みは、全国から注目を集め、毎週のように視察が訪れています。この取り組みを更に発展させて、例えば、獣害対策や活用の調査、研究の場を設定するなど、美郷町に人や情報が集まってくるような仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

そして、「地域課題への新技術等の活用」にも着手したい、と考えています。美郷町のような中山間地域では、高齢の方の交通手段や日常の買い物、農業対策などは、重要な課題です。

例えば、開発や実験が急速に進む自動運転、様々な分野で研究、活用が進められているドローンといった新技術は、このような課題を根本から解決する可能性を秘めています。ただし、実用化には、中長期で戦略的に取り組む必要があります。早速、研究、検討に着手したいと考えております。

新たな時代のまちづくりに向けて、町民の皆様の温かいご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたりまして、この一年が、町民の皆さまにとって、幸多き年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

美郷町長 嘉戸 隆